

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 株式会社 インターカルト日本語学校

1. 事業名称

生活者としての外国人と共に支え合うための日本語教育プロジェクトⅡ

2. 事業の目的

今年度も「生活場面とのつながり」「社会参加」「課題解決」「対話による相互理解と協働」「外国人当事者の参画」「自己表現」をキーワードとする。その達成のために、外国人(学習者としての外国人と、すでに日本社会で生きる外国人)、日本人(日本語指導者と、近隣に住む日本人)、それらすべてが参画する形で成立する「日本語教室」の開設。標準的カリキュラム案の普及を視野に入れ、地域において中心的担い手となる「人材の養成・育成」、生活者としての外国人のニーズにあった「学習教材」プログラムを作成していく。

企画にあたっては、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案、ガイドブック、教材例集、能力評価、指導力評価を参考にし、地域に根ざした独自の、効果的・実践的なプログラム内容の完成を目指す。

3. 事業内容の概要

台東区の現状に合った日本語教室及び支援体制の整備に関しては、台東区の交流促進課からボランティア講座の委託を受けていることもあり、地域で必要な日本語教室について話す機会を設ける。その際に「標準的カリキュラム案」の内容を示しながら、国が地域で求めている日本語教室のありかたなど内容を理解してもらう。当校が行っている日本語教室の様子を示し、今後台東区が日本語教室を行う上で、当校と協力しながら運営する体制を作っていく。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年10月 25日(土) 10:00～12:00	2時間	インターカルト日本語学校	西原 鈴子 加藤 早苗 田栗 春菜 谷口 真理	・日本語教室の運営状況 ・人材の養成・研修の目的など ・行政、商店街など地域との連携について	・順調に動いているが、国籍が偏りがちであるが、ペアで指導にあたっているので、今の状況で続けていって、3月に効果を確認したい。 ・今まで同様にボランティアの人たちに募集していくが、若い世代にも意識をもってもらいたい。大学生に声をかけていっているが、なかなか反応がない。SNSを使用して見たらどうか。 ・まずは、商店街との連携をつくること。そうすれば、行政も認めざるおえない。

5. 日本語教育の実施

(1) 講座名称 生活上の日本語を学ぶ教室(台東区)

(2) 目的・目標

地域との関係が希薄な外国人、地域との関係がありながら日本人の社会に溶け込めない外国人が地域社会と密接につながりを持ち、その中で地域の一員として生活し、日本人及び他の外国人たちと共に日本社会で生きていくために必要な日本語能力を養う。また、日本の文化・社会・習慣の体験を通してその理解を深め、地域社会に参加し、地域での生活を円滑に行えるようにする。また、主催者側が地域の日本人とつながりを作るための機会を定期的に作ることで、地域の住民である意識を芽生えさせる。

当日本語教室をサポートする立場となる者についても、対象外国人の目標達成に向けての支援をすることによって各々にとつての副次的な成果が表れるようにするものとする。

1)すでに地域での生活を行っている外国人は、地域の日本人と共に取組に参画することによりさらに日本社会及び日本人との結びつきを密接にする。そして教室、ひいては地域における自己の発信によって自分自身を日本社会に根付かせるきっかけを作り、生活をより豊かなで実り多いものにする。

2)地域に住む日本人は、日本語教室に参加することにより、地域に住む外国人の存在を理解することで、外国人と共に支え合うという意識を育み、同じ地で生活する存在であることを理解する。

(3) 対象者 台東区、または近隣に住む外国人(日本語学習歴は問わない)

(4) 開催時間数(回数) 74 時間 (全 37 回)

(5) 使用した教材・リソース

(6) 受講者の総数 28 人

出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	人	
韓国	1人	タイ	人	台湾 3人
ブラジル	人	ペルー	人	エルサルバドル 1人
ベトナム	人	フィリピン	人	インド 21人
ネパール	人	日本	人	

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年5月21日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	11	中国(2人) インド(9人)	自己紹介①	自分の家族を紹介し、家族の学校や仕事について話す。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	宋知炫 伊勢初子 内野真里
2	平成26年5月28日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(2人) インド(10人) 台湾(1人)	自己紹介②	自分や家族の趣味・好きなことについて話す。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	伊勢初子 内野真里 中井利与子
3	平成26年6月4日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	10	中国(1人) インド(6人) 台湾(2人) エルサルバドル(1人)	買い物①	自分の住んでいる地域のスーパーの情報を交換し、目的に合わせてどの店舗へ行っているか話し合う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	宋知炫 伊勢初子 内野真里
4	平成26年6月11日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(1人) インド(9人) 台湾(2人) エルサルバドル(1人)	買い物②	スーパーで店員に質問する際の表現を学習し、商品の場所や原材料について尋ねるロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	宋知炫 伊勢初子 内野真里 中井利与子
5	平成26年6月18日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(0人) エルサルバドル(2人)	買い物③	衣料品に関する表現を学習し、服飾店で店員に試着を申し出たり、色・サイズ違いのものを頼むロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	伊勢初子
6	平成26年6月25日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(1人) エルサルバドル(1人)	★課外活動 「スーパーへ行こう！」	課外活動として、近くのスーパーへ行き、買い物をする。実際に店員に質問してみる。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	伊勢初子 内野真里 中井利与子
7	平成26年7月2日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(8人) 台湾(3人)	病院①	初診受付での指示表現を学習する。実際に問診表を書いてみる。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	伊勢初子 内野真里
8	平成26年7月9日 (水) 10:00~12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	11	中国(1人) インド(7人) 台湾(3人)	病院②	病気表現を学習する。医師の診察を受けるロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉啓柔	宋知炫 伊勢初子 中井利与子

9	平成26年7月16日 (水) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	14	中国(1人) インド(10人) 台湾(3人)	薬①	薬の「用法、用量」に関する表現を学習する。処方箋薬局でのロールプレイを行う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子
10	平成26年7月23日 (水) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(1人) インド(9人) 台湾(3人)	薬②	ドラッグストアで、症状を説明し薬を求めるロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	宋知炫 伊勢初子 中井利与子
11	平成26年9月4日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(2人)	移動①	自分がよく使う電車の路線について話し合う。駅で駅員に目的地への行き方を尋ねるロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子
12	平成26年9月11日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	10	中国(1人) インド(7人) 台湾(2人)	移動②	道案内の表現を学習し、学校から自分の家までの行き方を説明し合う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子
13	平成26年9月18日 (木) 10:00～13:30	2時間	インターカルト 日本語学校	10	中国(1人) インド(7人) 台湾(2人)	★課外活動「スピーチ大会に参加しよう！」	課外活動として、インターカルト日本語学校のスピーチ大会に参加する。前回までに学習した表現を用いて、会場まで移動する。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子
14	平成26年9月25日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(1人) インド(10人) 台湾(2人)	移動③	道路標識を見て、その意味を確認する。漢字が読めない、意味が読み取れない標識や看板の意味を尋ねるロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子
15	平成26年10月2日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(2人)	防災①	地震発生時に取るべき行動を確認し、緊急時の指示表現を学習する。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子 赤岸由樹
16	平成26年10月9日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	15	中国(1人) インド(11人) 台湾(2人) 韓国(1人)	防災②	防災袋に準備しておくべき物を確認し、現在どれくらい準備ができているか話し合う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子
17	平成26年10月16日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	14	中国(1人) インド(10人) 台湾(2人) 韓国(1人)	防災③	地図を用いて自分の家や家族の勤務先、通学先の位置を確認し、地震発生時の避難場所について話す。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
18	平成26年10月23日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(1人) インド(10人) 台湾(2人)	防災④	緊急時の通報の仕方を確認し、電話をかけるロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	なし
19	平成26年10月30日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	10	中国(1人) インド(7人) 台湾(2人)	★課外活動「防災センターへ行く！」	課外活動として本所防災館へ行き、ビデオ学習や地震体験をする。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	長崎順子 千葉洋美
20	平成26年11月6日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	11	中国(2人) インド(7人) 台湾(2人)	サービス①	荷物を送る際の方法や料金、表現を確認し、郵便局で荷物を送るロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
21	平成26年11月13日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(2人) インド(8人) 台湾(2人)	サービス②	不在配達通知が入っていた場合の対応方法を確認し、再配達希望の電話をするロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
22	平成26年11月20日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	11	中国(1人) インド(8人) 台湾(2人)	サービス③	よく使用するコンビニや、コンビニのサービスについて話し合い、店員とやり取りするロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子 赤岸由樹
23	平成26年11月27日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(1人) インド(10人) 台湾(2人)	サービス④	美容院の情報を共有し、美容院で希望を伝えるロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
24	平成26年12月4日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	10	中国(1人) インド(7人) 台湾(2人)	サービス⑤	よく利用するレストランについて話し合う。実際に店員に注文する際のロールプレイを行う。	服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉碧柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美

25	平成26年12月11日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(1人) インド(10人) 台湾(2人)	料理①	おせち料理について話し、自国の料理を紹介し合う。料理を説明する際の表現を学習する。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
26	平成26年12月18日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(2人)	料理②	料理に関する表現を学習し、自国の料理の作り方を説明する。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	長崎順子 千葉洋美
27	平成27年1月8日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(2人) インド(8人) 台湾(2人)	★書初め	書初めを行い、新年の抱負を発表する。正月をどのように過ごしたかについて話し合う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	長崎順子
28	平成27年1月15日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(2人) インド(8人) 台湾(2人)	電話①	電話での表現を学習する。電話で友人を自宅に誘うロールプレイを行う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
29	平成27年1月22日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(2人)	電話②	電話でレストランや美容院の予約をするロールプレイを行う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	長崎順子 千葉洋美
30	平成27年1月29日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	15	中国(1人) インド(12人) 台湾(2人)	電話③	電話で子どもの学校や幼稚園に欠席・遅刻の連絡をするロールプレイを行う。学校(幼稚園)の先生と連絡を取る際の注意点について話し合う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
31	平成27年2月5日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	14	中国(1人) インド(11人) 台湾(2人)	地域社会①	自分の住んでいる地域のゴミ出しのルールを確認し、実際に分別をしてみる。粗大ゴミの出し方を確認する。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	伊勢初子 千葉洋美
32	平成27年2月12日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	13	中国(1人) インド(10人) 台湾(2人)	地域社会②	友人宅を訪ねる際のマナーについて話し、日本人の家を訪問するロールプレイを行う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
33	平成27年2月19日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	10	中国(1人) インド(7人) 台湾(2人)	地域社会③	習い事の情報・求人情報等地域の情報を読み取るための語彙を学習する。実際にポスターを見て、情報を読み取りながら質問する。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	伊勢初子 長崎順子 千葉洋美
34	平成27年2月26日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	11	中国(1人) インド(8人) 台湾(2人)	自分のことを話す①	自分の国や出身地域について紹介する。お互いに聞き合い、最終的に一まとまりの紹介文を完成させる。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	長崎順子 千葉洋美
35	平成27年3月5日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(2人)	自分のことを話す②	現在の自分や家族の習慣について話す。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	長崎順子 千葉洋美
36	平成27年3月12日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	11	中国(1人) インド(8人) 台湾(2人)	自分のことを話す③	日本へ来る前、来てから現在までの経歴を話す。生まれてから現在に至るまでのライフストーリーのシートを完成させ、お互いに話し合う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	長崎順子 千葉洋美
37	平成27年3月19日 (木) 10:00～12:00	2時間	インターカルト 日本語学校	12	中国(1人) インド(9人) 台湾(2人)	自分のことを話す④	これからの自分や家族の予定、希望を話す。今後日本でしてみたいことについて話し合う。	田中春菜 服部佐知恵 有田玲子 矢口奈緒子 上田佳子 松泉馨柔	長崎順子 千葉洋美

(8) 受講者の募集方法

- ・台東区にある外国人レストランにポスター掲示依頼
- ・台東区内の商店街にポスター掲示依頼
- ・台東区内公立・私立幼稚園及び保育園、小児科にチラシ設置依頼→4箇所です承諾を得た
- ・前年度参加者に協力依頼(Facebookの活用)

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

① 6月25日 課外活動「スーパーに行こう！」

「買い物」の学習のまとめとして、学校近くにあり参加者もよく利用しているスーパーに行き、実際に買い物をした。この課外活動の前に3週に渡って買い物場面での会話を練習したので、それを実際にスーパーの店員に聞いてみる、という活動を行った。現在の参加者の中にはベジタリアンも多いため、自分が食べられるものを実際に聞けるようになることは非常に重要だったようだ。また、食品に関しても普段疑問に思ってもなかなか聞けないことを日本人指導者に質問したり、それぞれの食材をどのように調理するかで各国の違いを話し合ったり、と教室内ではできない学習ができた。



② 10月30日 課外活動「防災館へ行こう！」

「防災」学習のまとめとして墨田区本所防災館へ行き、地震に関するビデオを見たり、実際に火災や地震の体験を行ったりした。災害発生時に使用する言葉を事前に学習していたので、体験時にそれを実践してみたが、実際の地震の揺れを体感して、学習や備えの必要性を改めて感じたという学習者も多かった。



(10) 目標の達成状況・成果

①オリジナル教科書の使用

前年度、学習者から「教材を1冊にまとめてほしい」という要望があり、作成した教材を教科書として冊子にしたところ、学習者からも、指導者からも(学習した項目がわかりやすい、修了時に達成感がある、など)好評だった。今後も継続していく予定。

②地域リソースの活用について

過去2年度の反省として、地域リソースをより活用していくことが課題となっていたため、今年度はさらに地域との接点を作ることを目標とした。具体的な取り組みは以下の通りである。

- ・ボランティア指導者の参加
- ・課外活動(近隣スーパー、防災館の実施)
- ・写真コンテストの実施
- ・スピーチコンテストへの参加

今年度の写真コンテストでは、近隣の商店街に写真を掲示して住民や商店街関係者に投票を募集したところ、前年度より参加人数が増えた。また、商店街の数店舗から受賞者への賞品等もいただき、少しずつ関係を築けてきたように思う。

③指導者・補助者の自己評価について

前年度より、指導者・補助者がどのように自己評価を行うかが課題となっていたため、今年度は年度開始時と終了時にアンケート形式で記録を行った。その結果、開始時と比較してより具体的に課題を持つようになったことを、指導者・補助者自身で感じる事ができた。

(11) 改善点について

・継続して通級する学習者は、作成したカリキュラム上の生活の場面を一通り修了したため、今後何を学んでいくかが課題となっている。単なる文法学習にとどまらず生活者により必要な学習にするため、よりニーズの聞き取りを行い、実際の学習に反映させていく必要がある。

・前年度からの課題として、地域リソースをより活用していくことを目標とした取組をおこなったが、さらに地域に密着した取組を行っていかねばならない。具体的には、今回のボランティア指導者も当校養成講座修了生が中心となっていたため、学校近隣に住むボランティアの参加も促していく必要がある。また、他の組織や団体と連携をより密に取りながら活動を進めていきたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 地域外国人と共に学ぶ 地域指導者のための研修
- (2) 目的・目標
- (3) 対象者 日本語教室の指導員、地域での日本語指導者、日本語教師、地域に住む外国人、
- (4) 開催時間数(回数) 3 時間 (全 9 回)
- (5) 使用した教材・リソース

(6) 受講者の総数 33 人
出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	33人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年11月1日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	15	日本人15名	世界の言語学習の潮流から標準的カリキュラム案ができるまで	・世界の言語学習の潮流から標準的カリキュラム案ができるまで ・標準的カリキュラム案の概要	西原鈴子	
2	平成26年11月8日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	14	日本人14名	「未来に向けた地域づくりと日本語支援/外国人支援」～未来の日本社会を展望し、外国人に対するさまざまな支援活動	・外国人支援の意義と地域日本語教室の役割 ・相互理解と異文化 ・「ANADO」を活用したワークショップ	神吉宇一	
3	平成26年11月29日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	14	日本人14名	「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案とは？	・標準的カリキュラム案5点セットの概要と使用法 ・ワークショップ「学習者の活力になる評価とは？」	加藤早苗	
4	平成26年12月13日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	13	日本人13名	「日本語教室で“ボランティア”をすること」～学生時代の経験に基づいた教室作り～	・インターカルト日本語学校「地域の日本語教室」実践例 ・具体的な教材活用例	田栗春菜	
5	平成27年1月24日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	15	日本人15名	本日のコミュニケーション能力（考察編）～「やさしい日本語」について考えてみる～	・「やさしい日本語」の概要 ・「やさしい日本語」への変換演習	齊藤美幸	
6	平成27年1月31日(土) 10:00~12:00	3.5時間	インターカルト日本語学校	14	日本人14名	本日のコミュニケーション能力（実践編）～留学生と日本語で話してみよう～	「やさしい日本語」を用いて、実際に外国人留学生と対話活動	齊藤美幸	
7	平成27年2月14日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	15	日本人15名	「“してあげる”から対等の関係へ」～ボランティア活動から会社設立まで～	・株式会社「ひらがなネット」のボランティア活動から会社設立まで ・地域住民への活動実践例	戸嶋浩子	

8	平成27年2月21日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	14	日本人14名	「ヒントは日々の活動の中にある」～楽しい企画のノウハウを教えます～	・株式会社「ひらがなネット」の海外での活動例 ・参加した学習者の体験談	戸嶋浩子	相原ザヤ
9	平成27年2月28日(土) 10:00~12:00	3時間	インターカルト日本語学校	14	日本人14名	「体験！秋葉原散歩」～人気企画、みんなで散歩を体験してみよう～発表、振り返り	・株式会社「ひらがなネット」の企画「散歩」を体験	戸嶋浩子	

(8) 受講者の募集方法

当校で受託先のボランティア団体に直接連絡、チラシ送付
台東区交流促進課に設置
当校のHP、Facebookでの通知
国際交流を行っている大学のサークルにメールでお知らせ

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



(10) 目標の達成状況・成果

毎講座終了後、アンケートを実施した。アンケート結果は、概ね満足が多かったので、目的はほぼ達成できたと思う。

<第1回 世界の言語学習の潮流から標準的カリキュラム案ができるまで>

実例が分かりやすく「日本語」の枠さえ超えて、教育や生き方をも考えるヒントになりました。また、今日の標準的カリキュラム案ができるまでの経緯がとても分かりやすく、考えさせられました。実践する意義もより、深く分かりました。

<第2回 未来に向けた地域づくりと日本語支援/外国人支援>

人口の動向、それに伴う態勢の問題等も具体的で分かりやすかったです。自己表現する場、機会、可能性を提供するkとができる日本語教室を目指す。

<第3回 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案とは？> 5点セットの活用方法がよく理解できた。異文化ワークショップ、受講生同士の考え方の違い、生活習慣の違いをよく理解したうえで、教えることの必要性がよくわかった。

<第4回 日本語教室でボランティアをすること> ボランティアが抱えている課題に共通することが多く、解決に向けての考え方など勉強になりました。学習者のことを考えて準備することがボランティア教室でなかったもので、少し変えてみようと思いました。具体的な教室での事例を、皆さんからたくさん聞けて楽しかったです。

<第5回 本当のコミュニケーション能力 やさしい日本語について考えてみよう>

「やさしい日本語」を意識して、学習者に対応していないということに気づかされました。自治体の取り組みについても知りたいと思います。実際に書き換え、言い換えの経験ができてよかったと思います。想像以上にむずかしかったです。

<第6回 本当のコミュニケーション能力 留学生と話してみよう>

外国人学生にやさしい日本語の実践ができた、勉強になりました。外国人の発信力をどうつけていくか、「やさしい日本語」どう活用していくかが、自分の課題である。

<第7回 ‘してあげる’から対等な関係へ>いろいろなキーワードを頂きました。「続けていくこと」「日本の生活への近道」「外国人が地域でつながるきっかけづくり」など今後の自分の活動に生かしていきたい。ボランティアでも参考になる活動がたくさんあった。ビジネスまでもってかれたのは素晴らしいことだと思う。

<第8回 ヒントは日々の生活の中にある> 日本語指導からスタートして、実際に生活する外国人にとって何が必要であるかを考えて行動することの大切さが理解できた。誰かのふとした言葉、自分の興味などから活動につなげていくこと、広げていくことの話が参考になった。<第9回 体験！秋葉原散歩> 地元であるが、秋葉原の再発見ができた。歩きながら話すことが楽しい。また、いつもと違う視点で街が見られて面白かった。

(11) 改善点について

11月から2月までと講座の期間が長すぎたことが反省としてある。期間があいてしまうと、気持ちが薄れてしまったり、忘れてしまったりで当日欠席が目立った。講座前に連絡したり、メールマガジンを配信したり、こちらに目を向けさせる工夫が必要に思う。また、今回は、国際交流に興味のある大学生に来てもらえるようにSNSを使用したり、国際交流のグループなど声をかけたが、申し込みは1人だけであった。講座が土曜日だったのでサークルやアルバイトなどで忙しく、大学生を対象にするのであれば、他の曜日を検討する必要がある、ボランティアと大学生を同時に募集をするのは、難しいと感じた。次回、ボランティア向けと大学生向けに分けて講座を考える必要があると感じた。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 「台東区に住むお母さんのための日本語学習教材」

(2) 対象

台東区在住の、来日後間もない日本語学習者。主に子どもを持つ「お母さん」を対象としているが、それ以外にも使用可能。ゼロ～初級程度の日本語学習経験者を中心に、初級後半以上の学習者にはレベルに応じて表現や語彙を追加するなどして対応可能。

(3) 目的・目標

本教材は、前年度本事業で実施した「生活のための日本語教室」の活動の中で行われたロールプレイ活動を動画にしたものに、今年度新たに生活場面を加えたものである。生活場면을学習する日本語教室での使用を前提としており、指導者が導入としてロールプレイを実演することで、学習者の場面理解を助けることを目的としている。

今回の動画作成にあたり、具体的には以下の点を目的とした。

- ①各生活場面における初級文型の取り上げ方の提示
- ②複数の指導者によるロールプレイが困難な教室における補助教材としての役割
- ③動画とスクリプトを用いて学習者と支援者が会話練習をするための教材としての役割

(4) 構成・総ページ数 12ページ・動画5本

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年4月19日 13:00～15:00	2時間	インターカルト 日本語学校	谷口真理、田栗春 菜、服部佐知恵、有 田玲子、矢口奈緒 子、松島昭子、上田 佳子	教材概要の検討	・前年度作成した教材を、今年度 どのように活用し、新たにどんな場 面を追加するかを検討。 ・動画に用いる場面の選択。
2	平成26年8月2日 13:00～15:00	2時間	インターカルト 日本語学校	谷口真理、田栗春 菜、服部佐知恵、有 田玲子、矢口奈緒 子、松島昭子、上田 佳子	教材概要の検討	・5月から7月末まで使用した感想、 改善案
3	平成26年8月9日 13:00～15:00	2時間	インターカルト 日本語学校	谷口真理、田栗春 菜、服部佐知恵、有 田玲子、矢口奈緒 子、松島昭子、上田 佳子	教材概要の検討 動画作成について	動画作成について、シナリオ作り

(6) 使い方

本教材は、生活場面での会話を切り取って動画にしたものである。動画にはスクリプトも付した。教室で各場面での学習の導入を行う際のロールプレイの例として使用できる。また、指導者数が限られており実際にロールプレイを行うのが難しい場合に、動画を用いて学習者に示すことも想定している。学習者が独学で用いる場合も、動画を繰り返し見ることで各場面における会話を練習することができる。また、スクリプトを用いて実際に話す練習を行ったり、スクリプト内に示されたポイントとなる初級文型を取り上げて学習することができる。

(7) 具体的な活用例

本教材は、教材を用いたロールプレイで場面導入を行った後、教室活動に発展させることを目的としている。そのため、以下、教室活動内容を含めた活用例を記載する。

【例：買い物①スーパーのチラシ等から情報を得る】

- ①指導者が近くのスーパーのチラシを見せて、話題を広げる。
- ②教室内で、指導者がロールプレイを行う(実際のロールプレイが難しい場合は、教材の動画を見せる)。
- ③ロールプレイで提示した話題に関して、指導者と話す。
(チラシの情報の読み取り、価格に関して意見交換、ふだん買い物する場所など)
- ④ロールプレイのスキットを用いて会話練習

(8) 成果物の添付 別途提出

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的 今年度も「生活場面とのつながり」「社会参加」「課題解決」「対話による相互理解と協働」「外国人当事者の参画」「自己表現」をキーワードとする。その達成のために、外国人(学習者としての外国人と、すでに日本社会で生きる外国人)、日本人(日本語指導者と、近隣に住む日本人)、それらすべてが参画する形で成立する「日本語教室」の開設。標準的カリキュラム案の普及を視野に入れ、地域において中心的担い手となる「人材の養成・育成」、生活者としての外国人のニーズにあった「学習教材」プログラムを作成していく。
企画にあたっては、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案、ガイドブック、教材例集、能力評価、指導力評価を参考にし、地域に根ざした独自の、効果的・実践的なプログラム内容の完成を目指す。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

日本語教室、教材作成に関しては、開始時、開始後に指導者・補助者、また学習者にアンケートを実施している。すべての取り組みに関して、地域においての日本語教育の必要性を感じるのと、声が多く上がった。また、日本語教室、教室で使用しているオリジナルテキストなどすべての内容に関して、指導者・補助者、学習者ともども満足度は高かった。地域においては近くの商店街でのイベントの実施など、協力体制は強くなっていると感じている。人材研修においては、文化庁委託事業以外で、ある自治体主催でのボランティア講座の委託を今年度の受けて、実施することになっている。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

今年度もカリキュラム案を使用して、学習者のニーズ調査・日本語教室のカリキュラム及び教材作成を行った。カリキュラム案の「生活上の行為一覧」があることで、指導者・補助者側が生活の場面を多く挙げやすく、学習者のニーズを聞き出す際により幅広く話ができた。
ただ、学習者及び指導者の評価については未だ十分な活用ができていないため、今後は他団体の使用例なども参考にしながら活用していければと思う。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

ボランティア講座の募集に関しては、台東区の交流促進課はチラシの設置に協力してくれた。また、当校にボランティア講座を委託している自治体は、積極的にボランティアグループに案内をしてくれた。日本語教室の募集に関しては、昨年、台東区保健所の保健婦さんにセミナーに参加して頂いたことから、チラシの設置や子育て中の外国人のお母さんに教室の案内など協力体制はできたと感じる。毎年、夏に近くの商店街で「PHOTO CONTEST」を実施している。今年で3年目になる。地域に住む外国人の方の参加もあり、商店街の会長も積極的に協力してくれている。地域の方たちの、投票も昨年に比べて多くなった。商店街の夏のイベントの一つになっている。

(5) 改善点、今後の課題について

台東区の行政との連携は、難しい課題である。台東区のボランティア講座の実施は、入札制になっているので内容ではなて委託料で決定するため、提案などできない状況にある。講座以外に提案できる内容を今後検討していく必要がある。まずは近くの地域から協力体制を作っていくことで、活動内容を行政に認めてもらえるような方向でも考えていきたい。イベント以外での協力も模索していく。文化庁の委託も今年度で6回目になり、人材研修の内容が、マンネリ化しないように、どのような内容であれば参加したいと感じるかなど、次回はニーズ分析に時間を取って、講座内容を組み立てようと思う。

(6) その他参考資料

チラシ添付

平成 26 年度文化庁日本語教育委託事業
主催：インターカルト日本語学校「あい・たいとう」プロジェクト

ちいき にほんごきょうしつ 地域の日本語教室



まいしゅうすいようび ごぜん
毎週水曜日 午前10:00～12:00

◆開催日時：5月21日（水）～ 3月19日（木）

第1期 5/21 ～ 7/23 <毎週水曜日> 10:00 ～ 12:00
第2期 9/4 ～ 3/19 <毎週木曜日> 10:00 ～ 12:00

※何月からでも参加できます！

◆場 所：インターカルト日本語学校（裏面地図参照）

◆対象者：台東区在住・在勤の外国人の方

※日本語の勉強が初めての方でも大丈夫です

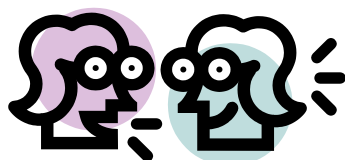
※小さなお子さんがある方も一緒に来られます

◆学 習 内 容：生活に関する日本語

（買い物をする、病院で、地震に備える…など）

◆参加方法：参加希望の方は谷口までご連絡ください。

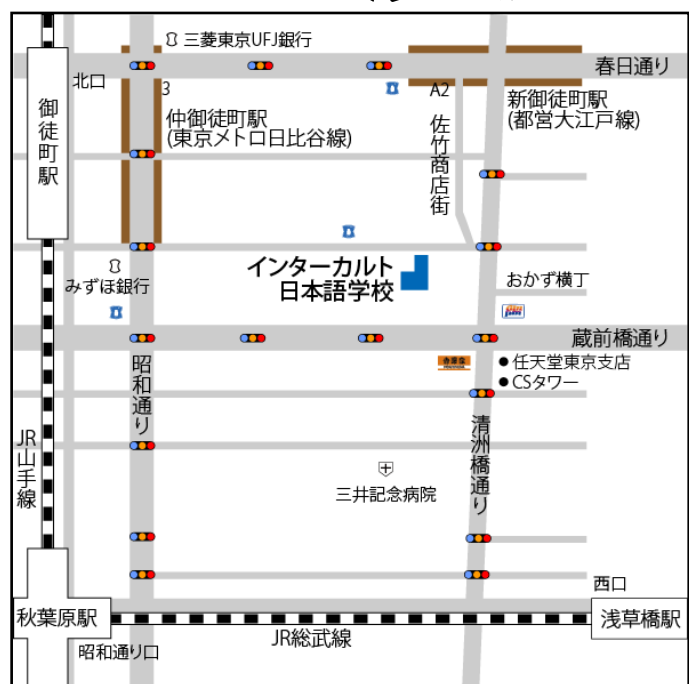
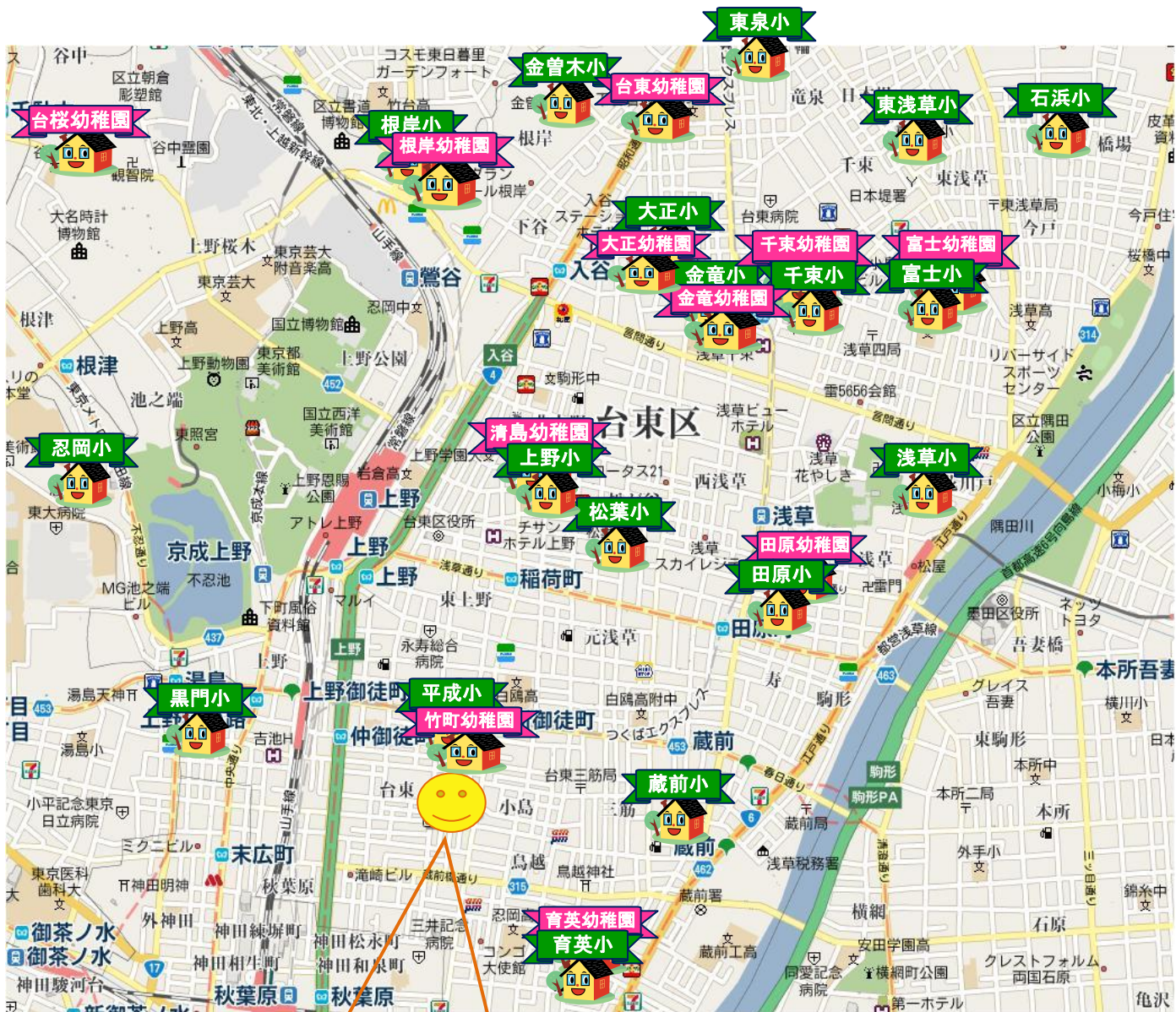
（問い合わせ先は裏面参照）



病気の時、地震の時、日本語で困ることはありませんか？

もっと日本人と日本語で話したいと思うことはありませんか？

「生活の中で使える日本語」を一緒に話しましょう！



<お問い合わせ Application and Inquires>

インターカルト日本語学校

東京都台東区台東 2-20-9

月・火・水・木・金 9:00~17:00

Intercultural Institute of Japan

2-20-9 Taito Taito-ku Tokyo

Mon, Tue, Thu, Fri, Sat 9am ~ 5pm

TEL: 03-5816-5019 FAX: 03-5816-4862

担当 : 谷口 Taniguchi

インターカルト日本語学校主催

平成 26 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育委託事業

外国人と日本人をつなぐ

楽しく地域日本語支援をするための講座



まずは知っておこう！！

■地域の支援についての国の動きや施策について ～さまざまな視点から～

11/1(土) 10:00～ 13:00	世界の言語学習 の潮流から標準的カリキュラム案ができるまで 国際交流基金日本語国際センター所長 元東京女子大学 教授 西原 鈴子
11/8(土) 10:00～ 13:00	「未来に向けた地域づくりと日本語支援/外国人支援」 ～未来の日本社会を展望し、外国人に対するさまざまな支援活動について考える～ 長崎外国語大学外国語学部特任講師 神吉 宇一
11/29(土) 10:00～ 13:00	「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案とは？ ～5点セット「わかる」から「使える」へ～ インターカルト日本語学校代表 文化庁日本語教育小委員会委員 加藤 早苗
12/13(土) 10:00～ 13:00	「日本語教室で“ボランティア”をすること」 ～学生時代の経験に基づいた教室作り～ インターカルト日本語学校 講師 田栗春菜



コミュニケーション能力を高めよう！！

■外国人と話すための話題作り ～日本語学校の活動から～

1/24(土) 10:00～ 13:00	本当のコミュニケーション能力 (考察編) ～「やさしい日本語」について考えてみよう～ インターカルト日本語学校講師 齋藤 美幸
1/31(土) 10:00～ 13:30	本当のコミュニケーション能力 (実践編) ～留学生と日本語で話してみよう～ インターカルト日本語学校講師 齋藤 美幸



楽しい企画を考えよう！！

■外国人と日本人をつなぐための楽しい企画作り ～ひらがなネットの活動を通して～

2/14(土) 10:00～13:00	「“してあげる”から対等の関係へ」 ～ボランティア活動から会社設立まで～ ひらがなネット株式会社 吉澤弥重子 戸嶋浩子
2/21(土) 10:00～13:00	「ヒントは日々の活動の中にある」 ～楽しい企画のノウハウを教えます～ ひらがなネット株式会社 吉澤弥重子 戸嶋浩子
2/28(土) 10:00～13:00	「体験！秋葉原散歩」 ～人気企画、みんなで散歩を体験してみよう～ 発表、振り返り ひらがなネット株式会社 吉澤弥重子 戸嶋浩子



講師紹介

西原 鈴子



アメリカ、インドネシア、オーストラリア、日本で日本語教育に従じた後、昭和 61 年から国立国語研究所勤務。日本語教育センター第二研究室長、日本語教育普及部長を経て、平成 10 年から平成 21 年 3 月まで東京女子大学教授。平成 13 年から平成 17 年まで日本語教育学会会長を務める。文化庁文化審議会では、平成 21 年から平成 23 年まで文化審議会長。現在は国際交流基金日本語国際センター長を務める。

加藤 早苗

1988 年よりインターカルト日本語学校で留学生のための



日本語教育に携わり始める。その後、インドネシアでの日本語教師経験を経て、ビジネス日本語研修の企画運営、日本語教師養成、地域での日本語教育、海外の日本語教師対象の日本語教授法講座の他に各地のボランティア講座で、主に文化庁の「標準的カリキュラム案」をテーマとする講座を担当し活動範囲は幅広い。母体「Inter-Cultural Institute of Japan」代表。

神吉 宇一



小倉育ち。小学校教師、日本語教師をはじめ、正規非正規合わせて 30 以上の職を経験し、2013 年 9 月より長崎外大に赴任。

前職は、経産省系の財団で日本語教育の専門職としてマネジメントの仕事をしており、主に政府や企業を相手にして、日本語教育を通じたグローバル人材育成のコースデザインやコンサルティングを行う。著書に『文化、ことば、教育：日本語/日本の教育の「標準」を超えて』2008、明石書店（共著）、『NAFL 日本語教師養成プログラム 24 巻 世界と日本』2014、アルク（共著）など

齋藤 美幸

1989 年よりインターカルト日本語学校にて日本語教師を務める。長期・短期コース



交換留学生プログラム、ビジネスマン向けプライベートレッスンなどさまざまなタイプの授業を担当。「東京都防災（語学）ボランティア研修」担当講師。また、JICA の「継承日本語教育研修」等の講師、地域における「ボランティア講座」の講師も務めている。著書に『きりり☆日本語 語彙 N4/ N5』（凡人社）、執筆協力に『絵で見てわかる 日本語表現文型』（ナツメ社）など。

ひらがなネット株式会社 戸嶋浩子 吉澤弥重子



墨田区の「日本語サークル こんにちわ！」で、外国人に日本語を教えるボランティア活動をする二人が、2012 年に会社を設立。「外国人と日本人をつないで、みんなが暮らしやすい社会にしたい！」との思いで、様々な事業を展開している。主な事業として、外国人のための「生活教室」、日本の家庭料理やおもてなし料理を教える「料理教室」、外国人と日本人と一緒に町歩きや遠出をする「みんなで散歩」「田舎のお家に行こう！」の企画運営。毎月「ひらがなネットしんぶん」を発行。

田栗春菜



東京外国語大学ヒンディー語専攻卒。学生時代より、主に調布市で年少者の日本語学習支援ボランティアに携わる。卒業後、日本語教師養成講座を受講した後、インターカルト日本語学校にて講師として勤務。現在は、同校にて留学生・ビジネスマンへの日本語教育や、「台東区に住むお母さんのための日本語教室」（H26 文化庁委託事業）を担当している。うどんとラーメンを愛する 博多っ子です。

会場：インターカルト日本語学校

■対象：外国人支援を行っている大学生、外国人支援に興味のある大学生

地域で外国人支援を行っているボランティア

■参加費：無料

■お申し込み方法→ yosei@incul.com 谷口まで

メール、お電話、FAX、郵送のいずれかで下記宛先に①～⑦を明記の上、お申込みください。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④e-mail ⑤生年月日 ⑥所属 ⑦参加可能な日

申込締切：10 月 27 日（月）

問い合わせ先

インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所

〒110-0016 東京都台東区台東 2-20-9 TEL: 03-5816-5019 / FAX: 03-5816-4862

担当 谷口真理 e-mail yosei@incul.com <http://www.incul.com>